

漢詩『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 by 李白

12月20日(火)、比嘉唯先生が授業を公開しました(2年3組)。本時の授業は、自分が好きだと思った漢詩の表現を抜き出し、その理由を考えることを通して、漢詩の構成や表現の効果について理解を深めることが目的です。

唯先生イイね！と思ったのが、生徒との対話がお上手で、時にはツッコミも混ぜるなど、教室にいる全員を清々しくて爽快な気持ちにさせてくれます。また、『生徒の反応がとても良かった』のは、唯先生の発問が分かりやすいからだろうと思わず感心する自分がありました。

単元計画や本時のタイムマネジメントには改善の余地がありそうでした(図2を参考に)。生徒がロイロノートを使って好きな表現を抜き出し、その理由を説明する時間を十分に与えることで、本時のねらいに迫ることができたかもしれません(図1)。次時を楽しみにしていますね😊

国語科の沙織先生からは、読み取った心情や情景を生徒に表現させ、それをグループで共有し、生徒の言葉でまとめることで、言葉の見方や考え方を働かせる契機につながると、アドバイスをいただきました(生徒全員が Output する場面設定、説明く発問、先生が説明く生徒が調べる)。

唯先生、ありがとうございました(^^) /



図1 ロイロノートで好きな表現を選んでいる姿

<p>③ 心情 悲しい、さびしい 気持ち。</p> <p>② 情景 春がすみの中に、一つの舟が浮かびだんだん消えていく様子。</p> <p>① 季節 (晩春)</p> <p>実現性と効果の観点から検証</p>	<p>暗さ 唯だ見る長江の天際に流るる水</p> <p>孤帆の遠影碧空に尽き</p> <p>煙花三月揚州に下る</p> <p>故人西のかた黄鶴楼を辞し</p> <p>春がすみ 晩春</p> <p>青空 消える</p> <p>倒置法</p> <p>本文の読み取り</p>	<p>D164 漢詩の風景</p> <p>本時の目標</p> <p>三つの漢詩の中から、気に入った句や表現を抜き出し、理由を書こう。</p> <p>ゆあて</p>
--	--	---

国語科単元・授業の流れ(例)

単元の課題(ゴール)の提示

— 言葉による見方・考え方を働かせるために —

- ★単元の「まとめ」と指導事項の「つながり」、教材の「まとめ」と一単位時間の「つながり」を意識しましょう
- ★思考をつなぐ「書く活動」「話す活動」等、アウトプットする場面を位置付けましょう

- ◎ 子供にとって解決する必要性のある「単元の課題」の設定
- ◇ 子供が取り組みたくなる単元の課題
 - 「話したい・聞きたい・書きたい・読みたい」気持ちが高まるような必要性のある課題設定
- ◇ 既習事項を生かした単元の課題 → 既習内容を振り返り、実生活や他教科と関連付けるような課題設定
- ◇ 言語活動を通して身につく単元の課題(「育成をめざす資質・能力」に適した言語活動の設定)
 - 児童生徒の実態をふまえた課題設定(発問、手立て、板書・ノート計画、評価計画等)

図2 「問い」が生まれる授業のポイント(問いサポP.19)